

平成30年度第3回行政評価委員会（しごと部会）会議録

1 開催日時

平成30年9月28日（金） 午前10時～午前11時35分

2 開催場所

花巻市役所 3階小会議室

3 出席者

(1) 委員 4名

影山一男委員（部会長）、高橋勉委員、八木浩員、高橋誠委員
（欠席：高橋徳好委員、上田直輝委員）

(2) 説明者（施策主管課） 1名

商工労政課：古川昌課長

(3) 事務局（施策及び事務事業担当課） 2名

秘書政策課：瀬川千香子主査
財政課：八重樫雅喜課長補佐

4 議題及び報告事項

市が実施した施策評価のうち、花巻市行政評価委員会の評価対象施策である「起業の推進」及び「企業誘致の推進」について評価を行った。

- (1) 施策主管課による説明、質疑応答
- (2) 委員会の評価結果集約

5 議事録

(1) 施策主管課による説明、質疑応答【主な意見・質疑等】

ア 施策1-5-1「起業の推進」について

高橋勉委員：「企業コーディネート機能」について、もう少し説明していただきたい。

古川昌課長：地域の企業をよく知る方がコーディネーターとして、新しい提案やマッチングを行う。製造業だけでなく食品などにも幅広く携わっている。例えば、以前「世界にも通用する究極のお土産」に選ばれた花巻市の3品にもコーディネーターが携わっている。

高橋勉委員：起業化支援センターには常勤の理事長などがいるのか。

古川昌課長：常勤の理事長と、市から派遣している事務局長がいる。

高橋勉委員：そういった体制で外部からの問い合わせに円滑に対応できることは良いことである。

古川昌課長：任意団体から法人化したことで、国県の事業採択が可能になり、今後は起業化支援センターの指定管理料等が法人の活動資金となる等、活動の幅が広がっていく。

八木浩委員：夏には市長が東京で全国PRを実施したようだが。

古川昌課長：立地企業懇談会のことであるが、施策1-5-3「企業誘致の推進」で実施している。平成29年度は7月に実施した。

高橋勉委員：入居した法人に、良かった点などの意見を聞いているか。

古川昌課長：大型機械の導入のための補助金の採択にあたり、コーディネーターが申請書類作成をサポートしてくれたことに感謝していた。

高橋勉委員：申請手続き上の書類作成は面倒であり苦手な方が多く、良い発想があっても前に進むことができない。そういった点をサポートすることは良いことだと思う。

高橋誠委員：この評価のロジックだと達成度Cとなるのだろうが、もう少し違う角度の評価軸が必要ではないか。起業の推進は大切なことであり、取り組む職員のモチベーションに係わる。

影山一男委員：現在の成果指標の数値だけではなく、特別な実績があればそれを加味して達成度を考慮してもよいのではないか。

八木浩委員：現実的に、インキュベート施設をなかなか卒業できない企業もあるだろう。

影山一男委員：事業所開設が1社でもあれば素晴らしいことだと思う。

イ 1-5-3「企業誘致の推進」について

高橋勉委員：工業団地等の用地について、場所は決定しているのか。

古川昌課長：まだ決定していない。

高橋勉委員：花巻市は農振地域が広い大変ではないか。農業を守る立場にはあるが、後継者が不足しているなか、小規模で不便な農地などはそういった用地として利用してもらうこともひとつの手段と思っている。

古川昌課長：農業を守る立場である農水省の反応は厳しい。未分譲の第2工業団地を売り切ったうえで、「この土地しかない」と証明する必要があり時間がかかる。現状、大規模な産業団地がないが、これは店に商品がないことと同じ。企業のニーズは多岐にわたり、広さを求められれば現状では対応できない。

古川昌課長：東芝メモリ関連の企業が進出してきているが、北上市にはなかなか土地がない。花巻市にも東芝メモリへのアクセスが容易な広い土地があれば売れる。

影山一男委員：事務事業の2つ目「産業団地整備事業」の成果がBとなっている根拠は何か。

瀬川千香子主査：「産業団地整備事業」については、成果指標がない事業のため成果を「一」とすべきであったため、訂正する。

影山一男委員：東芝メモリ立地に伴い、北上市では従業員向けのアパートの建設なども動き出している。当市においては企業向けの立地の良さのアピールだけでなく、働く人に向けた立地の良さのアピールも必要ではないか。

古川昌課長：花巻市に住んで北上市に通勤するという可能性も大いにある。不動産業者も慎重である。

高橋勉委員：湯口住宅団地についても、本来は北上市へ通勤する人をターゲットにしていたが、現状では売却が進んでいない。

古川昌課長：市としては、東芝メモリの従業員向けの宅地開発は考えていない。民間事業者に頑張ってもらいたい。かつての雇用促進住宅については、東芝メモリ関連の建設業者が借り上げるとのこと。

影山一男委員：企業誘致などについては、花巻市単独ではなく、花巻・北上・金ヶ崎・西和賀など広域で取り組めないものか。自分の市さえ良ければ良いという考えではグローバル化に対応できないため、広いエリアで考える必要がある。

古川昌課長：花巻市としては、北上市がカバーしきれない部分は岩手県で調整してくれればと考えている。

高橋勉委員：全体的にはそういったスタンスなのだろうが、個別の案件となると難しいようだ。

(2) 委員会の評価結果集約【施策評価検証シートの整理】

ア 施策1-5-1「起業の推進」について

●「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか

影山一男委員：機能しているが、専門用語が多い点がわかりにくい。

●「5施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか

影山一男委員：成果Cの事務事業について、「成果の向上・・・」や「新事業」に記載があり、的確である。

●「3成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか

影山一男委員：達成度Cとのことであるが、成果指標の数値目標以外の実績を加味して評価しても良いのではないか。

●「6施策の総合的な評価」が的確に行われているか

高橋誠委員：「今後の方向性」に記載のある「指定管理」と「企業コーディネート」に関して2つの内容をそれぞれ分けて記載したほうがわかりやすいし、より具体的に記載すべきである。

●「シート記載内容全般について」

影山一男委員：専門外の人が見るとわからない用語がある。表現に工夫が必要である。

イ 1-5-3「企業誘致の推進」について

●「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか

影山一男委員：機能している。

「良い物件は売れる」ということがはっきりしている。

●「5施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか

高橋誠委員：課題がはっきりしており、何をすべきがわかっている。

影山一男委員：既立地企業への手厚いサポートが新規立地にもつながること。

● 「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか

高橋誠委員：企業の撤退などは市に相談することなく企業内で決定してしまうことから、市としてはどうしようもない部分がある。

● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか

高橋勉委員：人手不足はどこも同じであり「検討する」だけでは不足している。施策1－6－1「職業人材の育成」などで取り組んでいることや、「他部門と連携する」など具体的に記載すべきである。

● 「シート記載内容全般について」

影山一男委員：農振除外、農地転用など専門用語が多く、説明や表現上の工夫が必要。